



発行日 令和2年7月 古石ひでさと後援会事務局 岩見沢市橋向町南1条1丁目 TEL 26-2226

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

五輪開催は高い壁が

Table with columns for months (9月, 10月, 11月, 12月, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月) and rows for various events like '東京五輪', 'IOC総会', '東京/ラリンピック'.

五輪開催 高い壁

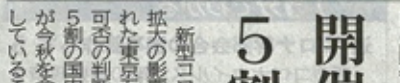
来夏の東京五輪は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、中止や再延期を求める声も上がっており、その道は険しい壁に突き当たっている。感染防止対策のほか、追加経費、開催の可否の判断といった山積する課題や、札幌会場となるマラソンと競歩を含めた準備状況を紹介します。今後を展望する。

世論コロナで冷ややか ■追加負担都に重く

組織委、収束期待し時間稼ぎ
「これは選手はコロナからスタートしたい。安心して東京大会を目指してほしい」と、東京五輪の新大会組織委員会の菅野功典会長は、選手や関係者へのメッセージを送った。

コロナ対策が最大課題
東京五輪まで1年

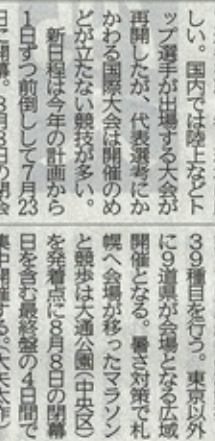
新型コロナウイルスの影響で史上初めて延期された東京五輪の開催まで、23日で1年となった。競技日程と会場は計画維持が決まったものの、感染防止対策が最大の課題となる。国内でも再び感染が広がり、開催への不安の声が高まる中、大会組織委員会は安心、安全の新たな運営方式の検討を急ぐ。



延期された東京五輪の開催までの日数を示すカウントダウンボード。その前をマスク姿の人々が行き交う(22日、東京・新橋駅)。(富田茂樹撮影)

開催の可否判断
5割「年内希望」

新型コロナウイルス感染、通信のアンケートで分かった。コロナ危機で先行きが拡大の東京五輪を巡り、開催の不透明な中、6割のNFFが5割の国内競技団体(NFF)が今年秋を含めて年内を希望する。そのうち、共同委員会(IOC)や大会



組織委員会に早期結論を望んでいる実態が浮き彫りになった。23日は五輪開催まで1年。コロナ対策と経費削減につながる大会の簡素化は半数近いNFFが賛成し、約74%に当たるNFFは無観客が観客を大幅に削減しても実施すべきだと回答した。6月末から7月中旬にかけて行ったアンケートでは、東京五輪で実施される33競技を統括する35のNFF

感染対策 秋から検討
観客 国内在住限定案も

来夏の五輪で感染防止対策は、観客を日本国内在住者に限定する案も浮き彫りになった。IOCと組織委員会は今年秋、新型コロナウイルス対策の本格的な検討に入る。国内の観客数を制限する案も浮き彫りになった。IOCと組織委員会は今年秋、新型コロナウイルス対策の本格的な検討に入る。国内の観客数を制限する案も浮き彫りになった。

松野氏が事務所開き
後援会公約の実現を誓う



【岩見沢】8月23日、同30日投票の任期満了に伴う市長選挙候補を表明している現職松野哲氏(64)の後援会は18日、市内8西6で事務所開きを行った。新型コロナウイルス感染防止の後援会の五十嵐副会長、村本副会長、松浦副会長、岩見沢市議員、久美副会長、山田副会長、事務所の開きを祝う。松野氏は、事務所開きについて「新しい4年間に向かって挑戦させていただきます」と述べた。最後に「市民生活の質の向上と経済の活性化」に向けた「公約実現」へ決意を新たに述べた。

道内第2波、1波の6倍
石狩管内8割、札幌中心



ロボット草刈り機で時間と労力削減
秋田谷農園 全自動、管内初導入

【岩見沢】秋田谷農園(岩見沢市)は、全自動ロボット草刈り機を導入した。これは、管内初の導入となる。ロボット草刈り機は、刈草の高さを調整でき、刈草の量を調整できる。また、刈草の量を調整できる。また、刈草の量を調整できる。また、刈草の量を調整できる。